

神苑

池面に花は映り
花の中を鯉は泳ぎ

水中花に雨は落ち
揺らめきに花は消え

池面に花の雲はあり
空には薄墨の雲はあり

飛び石を渡り望めば
ああ、神宮の鳳凰が啼く

紅の枝垂をくぐり抜ければ
ああ、僕はひとつの笑顔を思い出していた

(1985.4.7)